

第39回福岡県女子剣道選手権大会 兼、第60回全日本女子剣道選手権大会県予選会 実施要項

1. 日 時 令和3年6月27日(日)
受付時間 午前 8時30分～9時00分
開会式 午前 10時15分

2. 会 場 福岡武道館
福岡市中央区大濠 1-1-1 TEL 092-714-1900

3. 大会内容

(1) 開会式・日本剣道形・閉会式は行いません。

試合前に、大会諸注意・レプリカ贈呈及び試合上の注意を行い、
試合終了後、成績発表ならびに表彰（1位～4位）を行います。

(2) 出場資格

①年齢 18歳以上とし、段位の制限はしない。

(年齢計算は、令和4年4月1日を基準とし、平成16年4月1日以前に生まれた者)

②五段以上は本連盟の登録会員であること。四段以下は地域の剣道連盟に所属して
いること。

③予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。

(3) 全日本女子剣道選手権大会の出場者は、上位2名とする。

4. 注意事項

(1) 防具等の荷物は、2F観覧席に置くこと。

(2) 使用する竹刀は、全剣連の「竹刀の基準」を遵守すること。

※大会当日、竹刀の計量、測定を実施いたします。

(場所は、柔道場)

(3) 選手は、大会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。

(4) 紅白目印（長さ70cm・幅5cm）を持参すること。

(5) ウォーミングアップについては、審判会議を競技場内で行う関係で十分な時間が確保
できないことから、選手各自で調整すること。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大会参加者（選手、大会役員、係員）以外
の入場はできません。（無観客試合）

5. 申込方法 所属の地域剣道連盟に参加料 1,000円とともに申し込むこと。

6. 申込締切 所属の地域剣道連盟が定めた期日

7. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
- (2) 試合はトーナメント方式により、優勝・第二位・第三位・第四位を決定する。
- (3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行ない、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り、勝敗の決するまで継続する。

8. 剣道用具の取り扱いについて

- (1) 選手は、大会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。
(「17.安全管理」参照)
- (2) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、軽量・検査を必ず受けること。
 - 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表1、表2および図のとおりとする。
 - ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損う加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (3) 小手については次の事項を遵守すること。
 - 小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
 - 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (4) 面については次の事項を遵守すること。
 - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (5) 剣道着については次の事項を遵守すること。
 - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。
(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう最小直径
120センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上

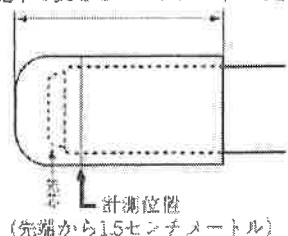
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	400グラム以上	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	250~280グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

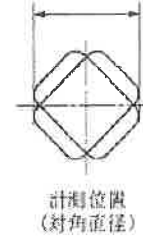
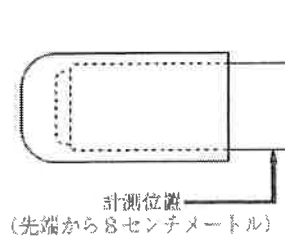
図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



9. 表彰 優勝者には優勝杯と賞状を授与し、2位については賞状及びトロフィーを授与する。なお、3位と4位については賞状（敢闘賞）を授与する。

10. 安全対策

出場選手は、各自十分健康管理に留意し本大会に参加すること。

主催者において、大会実施中傷害発生の場合は、看護師により応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。

この場合の治療費は自己負担とする。

なお、主催者は、大会中の選手の事故に対し、傷害保険に加入する。

選手は、健康保険証を持参のこと。

※別紙の大会実施要項（新型コロナウイルス感染症対策）を参照のこと。

※大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、福岡県剣道連盟事務局に至急連絡をし、濃厚接触者の有無について報告をしてください。